

## 鉄道係員に対する暴力行為の主な事例(令和3年度)

月日	12月12日	曜日	日曜日	時間帯	24時
場所	車内	加害者の年齢	60代	飲酒の有無	有
<p>車内に泥酔しているお客様がいるとの車掌無線を聞いて社員が該当車両へ向かい、泥酔している男性のお客様を起こして下車して頂く旨を説明すると「何なんだ、社員証見せろ」と騒ぎ、名札を見せたところ「そんなのでたらめだ」と社員2名の胸や顔を何発も殴った。</p>					

月日	5月21日	曜日	金曜日	時間帯	10時
場所	駅事務室窓口	加害者の年齢	70代	飲酒の有無	無
<p>関係者が激高状態で駅事務室窓口を訪れ、ICカードの紛失再発行について問い合わせがあった。駅助役から手続きについて繰り返し説明を行ったが関係者は激高状態で聞き入れず、突然、駅助役の左胸を殴打したことから110番通報を行った。</p>					

月日	4月25日	曜日	日曜日	時間帯	17時
場所	車内	加害者の年齢	30代	飲酒の有無	無
<p>停車中、迷ったという加害者を普通車へ案内する際、1階席からデッキへの階段で臀部を触られた。デッキで肩を掴まれホームと反対側のドアに体を押し付けられ抱きつかれ、「助けてください」と叫んだら口を押さえられた。2階席から降りてきたお客さまを見た加害者は逃走していった。</p>					

月日	6月16日	曜日	水曜日	時間帯	7時
場所	ホーム	加害者の年齢	20代	飲酒の有無	有
<p>車内点検中、座席で寝ている旅客を発見し、声かけを続けたところ一旦は起き上がり自力で車両から降車したが、ホーム上で再び寝てしまい、再度声を掛けても起き上がらないため駅事務室に警察の手配を依頼した。その後起き上がり、ふらつきながらホーム上を歩行していたため、ホーム下に転落しないよう見守りながら随行したが、笠石を掴みホーム下に降りようとしたため、落ちないように足を引っ張ったところ急に立ち上がり、駅係員の顔面を拳で殴り、ホーム上に倒れたところを足蹴りし、馬乗りになり顔面を7、8回殴られる暴行を受けた。(全治14日) その後、駆け付けた駅係員数名で取り押さえ警察官に引き渡され、後に示談となった。</p>					

月日	12月28日	曜日	火曜日	時間帯	5時
場所	ホーム	加害者の年齢	50代	飲酒の有無	有
<p>営業開始前のホーム上ベンチに50代男性が座っていたため声をかけたところ、突然背中を殴られ、更に左右大腿部を蹴るなどの暴力行為に及んだ。その後、駆けつけた警察官に身柄を確保された。 (全治1週間) 加害者は、10万円の罰金の略式命令で終了した。</p>					

月日	12月12日	曜日	日曜日	時間帯	21時
場所	ホーム	加害者の年齢	70代	飲酒の有無	無
<p>車椅子の貸出依頼を受けたためホームで待っていたところ、到着した列車内から当該旅客が「こっちに来い」と罵声を上げ、持っていた杖を振り回し係員の左腕に当たった。列車から下車後もさらに左腕を殴打された。 傷害罪で受理された。</p>					

月日	6月10日	曜日	木曜日	時間帯	不明
場所	改札口	加害者の年齢	20代	飲酒の有無	不明
<p>加害者は友人とともに改札口から出場する際、友人が駅からの乗車券代を支払うためインターホンにより駅係員を呼び出したが、応対した女性駅員の態度に立腹し、改札口へ当該係員が赴き謝罪した際、加害者は右手で係員の左手の甲を叩き、続いて左頭部を叩いた。</p>					

月日	5月2日	曜日	日曜日	時間帯	17時
場所	車内	加害者の年齢	60代	飲酒の有無	有
<p>指定席に座られていた男性のお客さまのきっぷを改札した際、きっぷを所持していないとのことだったため、指定席券の発売をしようとしたところ、料金が低いとのことだった。 そのため、自由席をご案内し誘導していたところ、指定席である3号車の席に座られたため、一つ前の4号車が自由席であるのご案内した際に、急に激昂され胸を3回殴打された。その後も臀部を2回蹴られ、背中を強く押された。</p>					